

評価手続中事業（平成18年度評価）の再評価結果一覧

【公共事業関係費】

【道路・街路事業】
（補助事業等）

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)	費用:C (億円)	B/C				
			便益の内訳及び主な根拠						
一般国道118号 小沼崎バイパス 福島県	5年 未着工	66	84	【内訳】 走行時間短縮便益：81億円 走行経費減少便益：2.6億円 交通事故減少便益：0.45億円 【主な根拠】 計画交通量：11,500台	60	1.4	・小沼崎地区のすれ違い困難な隘路が解消され、交通の円滑化が図れる。 ・異常気象時通行規制区間L=2.4kmの解消に資する。 ・H8防災点検要対策箇所5箇所の解消に資する。	継続	道路局国道・防災課 (課長 下保 修)
一般国道1号 不動坂工区 横浜市	10年 継続中	46	432	【内訳】 走行時間短縮便益：440億円 走行経費減少便益：-3.5億円 交通事故減少便益：-4.4億円 【主な根拠】 計画交通量：37,500台	46	9.3	・現道部における渋滞損失時間（180万人・時間/年→98万人・時間/年） ・横浜港（特定重要港湾）へのアクセスの向上（横浜市南部方面からのアクセスが2分短縮）	継続	道路局国道・防災課 (課長 下保 修)
一般国道471号 利賀バイパス 富山県	10年 継続中	80	90	【内訳】 走行時間短縮便益：73億円 走行経費減少便益：16億円 交通事故減少便益：0.45億円 【主な根拠】 計画交通量：1,200台	85	1.1	・利賀村スキー場や温泉地等の観光客増加が期待できる。 ・利賀村と砺波市のアクセス向上（65分→49分）が図られる。 ・一般国道471号のすれ違い困難な箇所を解消し、交通の円滑化を図る。	継続	道路局 国道・防災課 課長 下保 修

【土地区画整理事業】

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)	費用:C (億円)	B/C				
			便益の内訳及び主な根拠						
十日町駅西土地区画 整理事業 十日町市	再々評価	72	39	【内訳】 走行時間短縮便益 34億円 走行経費減少便益 5.5億円 交通事故減少便益 -1.1億円 【主な根拠】 計画交通量：9,000台/日	28	1.4	・道路の防災対策・危機管理の充実（幅員6m以上の道路がないため消火活動ができない地区が存在するため、この地区解消） ・地域・都市の基盤の形成（鉄道新線と一体となった整備）	継続	都市・地域整備局 市街地整備課 (課長 松田秀夫)

評価手続中事業（平成17年度評価）の再評価結果一覧

【公共事業関係費】

【土地区画整理事業】

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				
			便益の内訳及び主な根拠						B/C
谷山第二地区土地 区画整理事業 鹿児島市	10年 継続中	263	247	【内訳】 走行時間短縮便益 248億円 走行経費減少便益 5.6億円 交通事故減少便益 -7.3億円 【主な根拠】 計画交通量：9,400台/日	131	1.9	・都市圏の交通円滑化の推進 ・安全な生活環境の確保 ・良好な環境の保全・形成 ・道路の防災対策・危機管理の充実	継続	九州地方整備局 都市・住宅整備課 (課長 福本仁志)

評価手続中事業（平成16年度評価）の再評価結果一覧

【公共事業関係費】

【道路・街路事業】
（補助事業等）

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)			
			便益の内訳及び主な根拠					
都市モノレール多 摩南北線 東京都	再々評価	-	-	-	-	-	評価手続中	本省 都市・地域整備局 街路課 (課長 松谷春敏)